

東京都AI戦略

令和7年（2025年）7月

東京都デジタルサービス局

目次

1. AIへの向き合い方

- 東京都AI戦略策定の背景 4
- 東京都AI戦略の位置づけ 10
- AI利活用がもたらす「暮らし」「行政」の変革 11

2. 都政におけるAI利活用

- AI利活用に当たっての基本方針 14
- AI利活用を図っていくべき業務領域 15
- 各業務領域におけるAI利活用の分類 16
- AI利活用に当たって留意すべき事項 19
- 基本方針を踏まえたAI利活用の推進 20

3. 多様な主体とのAI利活用促進

- 国際競争力の向上及びAIフレンドリーな社会の醸成 25
- 産業の成長とイノベーションを牽引する取組の展開 26
- 社会全体におけるAIの活用促進と人材育成の推進 28

4. 東京都の推進体制と主な取組

- 都政におけるAI利活用推進に向けた体制と主な取組 31

おわりに 37

1. AIへの向き合い方

2. 都政におけるAI利活用

3. 多様な主体とのAI利活用促進

4. 東京都の推進体制と主な取組

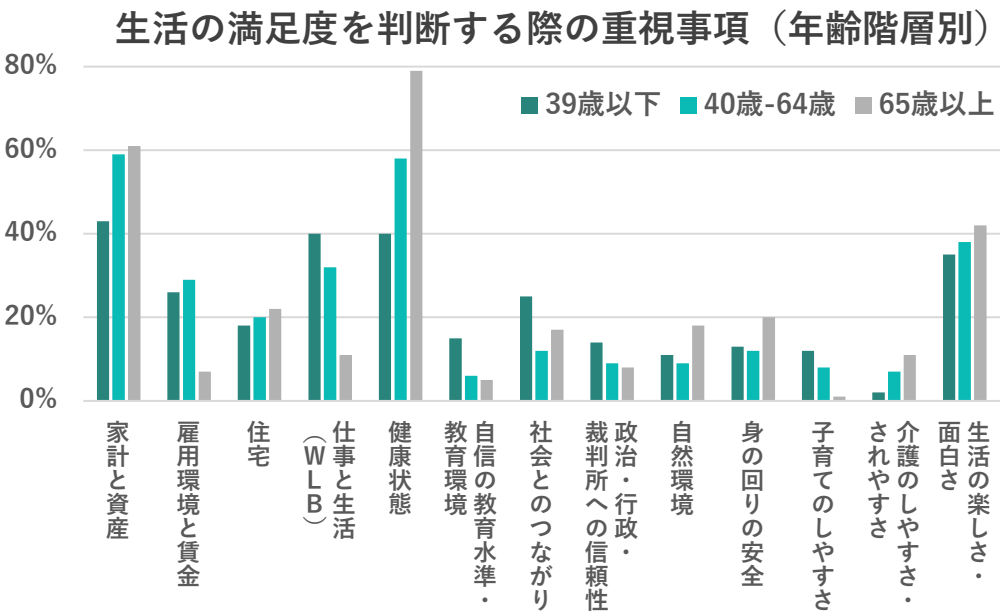
1. AIへの向き合い方

東京都AI戦略策定の背景

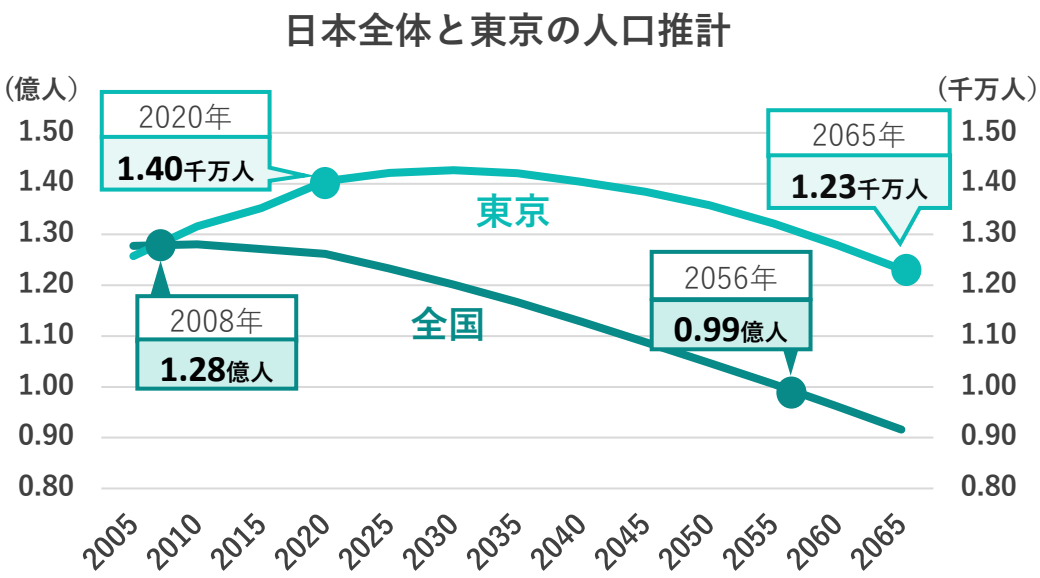
都民ニーズの多様化と人口減少の加速

人々の価値観やニーズは、時代の変化に合わせて多様化・複雑化してきています。一方で、日本の人口は2008年をピークに減少の一途を辿り、2050年代には1億人を割り込むと予想されています。東京の人口も、2030年をピークに減少すると予想され、2065年には2020年比で約1割減少する見込みです。また、今後、人口減少と少子高齢化に伴い、生産年齢人口も減少し、労働力不足の深刻化が懸念されます。

労働人口の減少が見込まれる中においても、様々なニーズにきめ細かに対応できるようサービス変革や品質向上を図りながら、都民の実感につながる質の高い行政サービスを提供していくことが求められています。



(資料) 満足度・生活の質に関する調査報告書 2024 (内閣府)
※13 分野のうち、生活満足度を判断する際に重視した事項として回答した第1位から第3位を「重視事項」として分析



2020年以前の数値は全国・東京都ともに「国勢調査」(総務省)の数値
2025年以降の全国の数値は「日本の将来推計人口(令和5年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)による
2025年以降の東京都の数値は東京都政策企画局による推計値

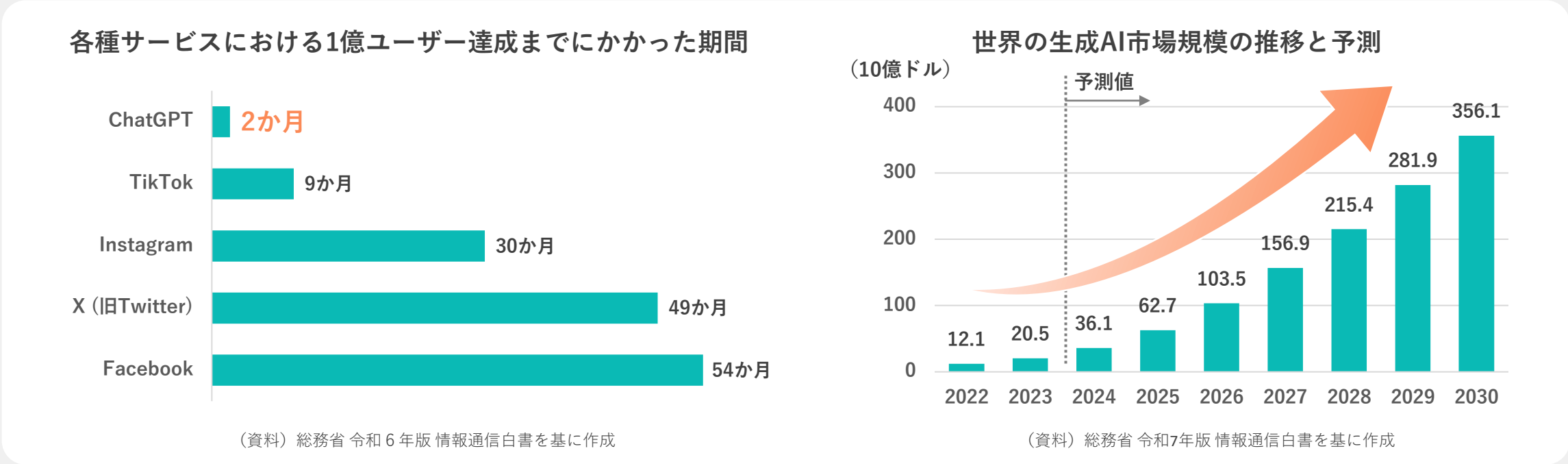
1. AIへの向き合い方

東京都AI戦略策定の背景

生成AIをはじめとするテクノロジーの進化

画像認識や分類・予測などの定型処理にとどまる従来のAIとは異なる、テキストや画像を創造できる画期的な「生成AI」が登場して以降、AI利用の大衆化が飛躍的に進展しています。多様なAIサービスが開発・提供されており、生成AIの市場規模は指数関数的に成長することが予測されています。

生成AIを含むAIの技術革新により、今後、様々な領域で人間の作業をサポートすることで労働環境が変化するだけではなく、社会の構造自体が大きく変革するほどのインパクトが起こることが見込まれます。こうした動向を捉え適切に対応することができれば、業務の生産性を飛躍的に向上させ、都民一人ひとりの生活をより便利により豊かにすることが可能となり、持続的に成長し続ける社会を作ることにもつながります。



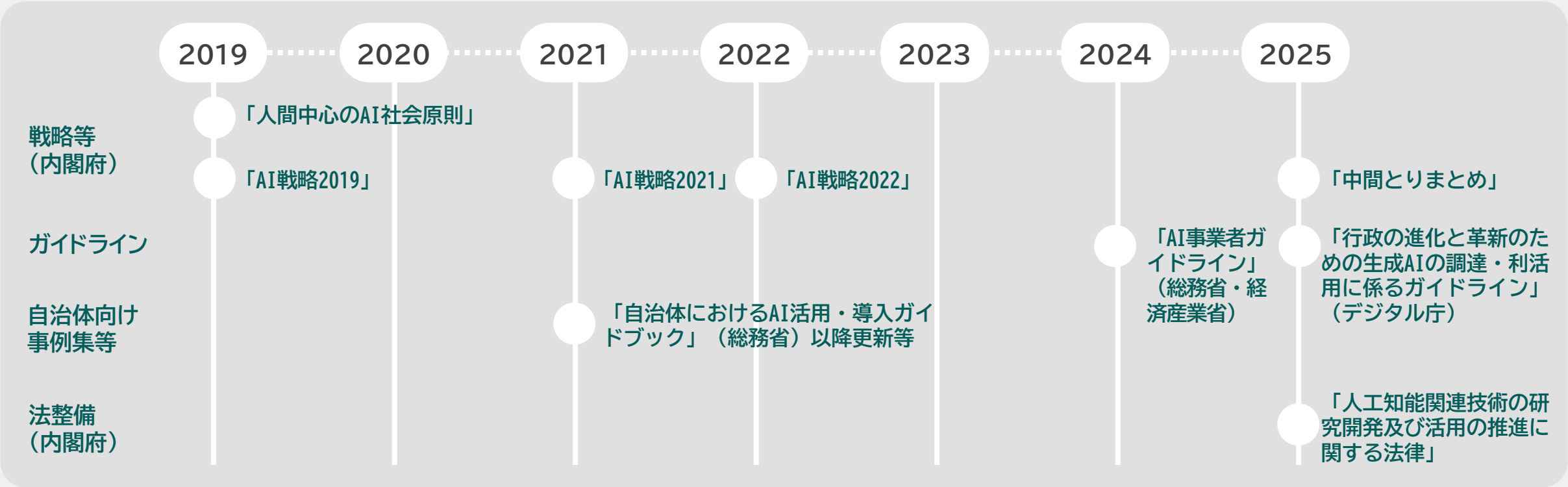
1. AIへの向き合い方

東京都AI戦略策定の背景

AIをめぐる国・他自治体の直近の動向

国においては、イノベーション促進とリスク対応の両立・国際協調の推進という観点から議論を深めるとともに、AIの利活用に向けた法整備をはじめ、政府や事業者の利活用に係るガイドラインの策定等が進んでいます。

住民に身近なサービスを提供する地方自治体では、職員の業務効率化に向けてAIを活用する動きがみられ、一部の自治体では住民向けサービスにAI導入を進めており、検証段階から本格導入段階に移行するなど先行的な取組もみられます※。



※参考：自治体におけるAI・RPA活用促進（総務省 | 令和6年）

東京都AI戦略策定の背景

AIをめぐる海外の動向

AIサミットなど国際的な枠組みにおいて、AIに関する国際的なルール作りや協力体制等が議論されており、近年は「安全性確保」から、「イノベーション促進」といった議論へと議題が拡大しています。

主要国等は、こうした動向を踏まえつつ、それぞれの実情に応じたアプローチで戦略や行動計画等の策定を進めるとともに、世界の主要都市では、AIガバナンスや、AI技術を市民生活の質向上や行政の効率化に生かすための取組を展開しています。

国際的な 枠組み

- ロンドン AIセーフティサミット(2023.11)
- AIソウルサミット (2024.5)
- フランス AIアクションサミット (2025.2)
- OECD AI原則改定 (2024.5)
- 広島AIプロセス (2023.12)

主要国等

- 英国 National AI Strategy(2022.9)
- EU AI法(AI Act) (2024.8)
- EU AI Continent Action Plan (2025.4)
- 米国 AI安全に係る大統領令 (2023.11) ※2025年1月廃止
- 米国 United States International Cyberspace & Digital Policy Strategy (2024.5)
- 英国 AI Opportunities Action Plan (2025.1)

主要都市

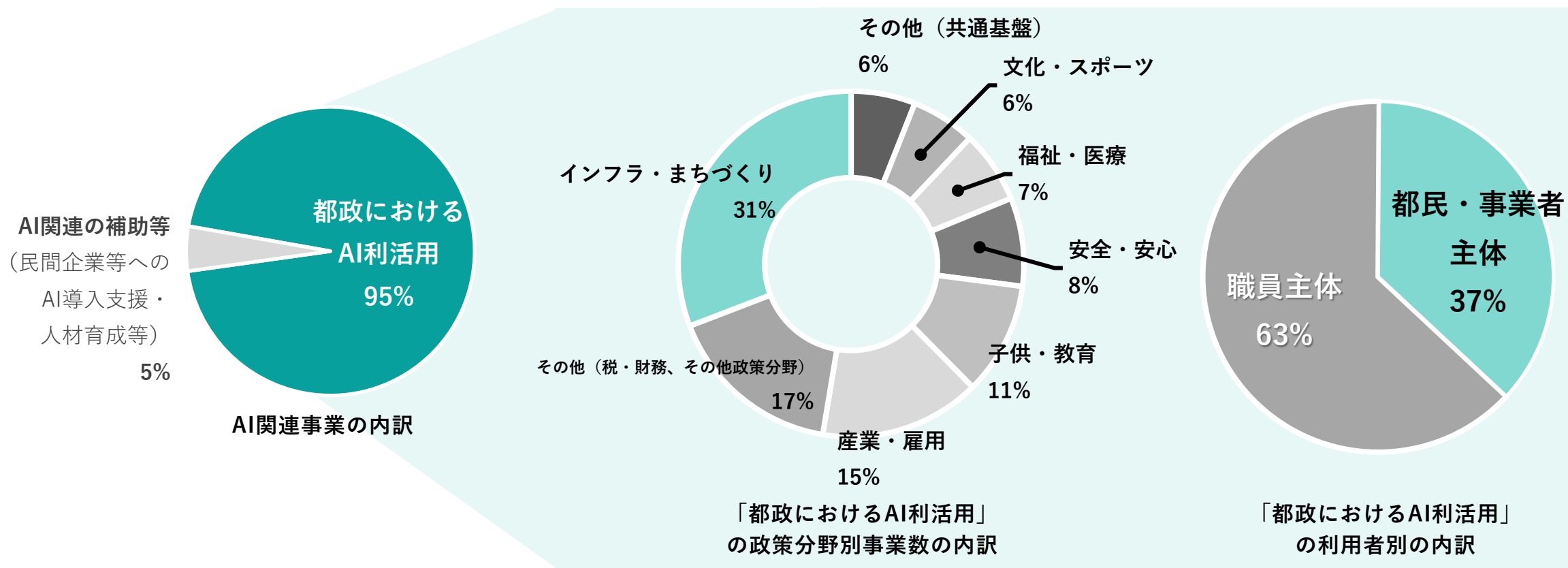
- ニューヨーク市 AI Action Plan (2023.10)
- マドリッド市 AI Strategy (2024.8)
- ニューサウスウェールズ州 AI Strategy (2020.4)
- サンフランシスコ市 Generative AI Guidelines (2023.12)

1. AIへの向き合い方

東京都AI戦略策定の背景

東京都のAIに関する取組状況

東京都では、問合せ対応へのチャットボット導入、画像認識技術を活用したインフラ点検の効率化、データ分析に基づく政策反映などAIを利活用した様々な取組を展開しており、職員内部業務はもちろんのこと、都民サービスに直結するような業務においてもAIを利活用する取組が始まっています。



1. AIへの向き合い方

東京都AI戦略策定の背景

- ここ数年、急速に進化を遂げるAIは、行政サービスのあり方や職員の働き方を大きく変革するとともに、社会のあらゆる分野に影響を与え、社会全体の構造そのものを変革していく可能性を秘めています。
- 多様化・複雑化する都民ニーズへの対応や今後訪れる労働力不足への対応など都が抱える課題を解決し、都民一人ひとりの手取り時間を増やすなど幸せを実感できる生活（QOL向上）を実現するには、都がAIをこれまで以上に積極的に活用し、個別の事業でAIを試す「点」の取組から、全庁的・戦略的に活用を進める「面」の取組へと移行していくことが重要です。
- 加えて、持続的に成長する「世界で一番の都市・東京」を実現するため、AIによる技術革新をリードし国際競争力を高めるとともに、社会全体におけるAIの活用促進を東京都が牽引していくことが期待されています。

多様化・複雑化する
都民ニーズへの対応

労働力不足への対応

持続的に成長する
世界で一番の都市・東京の実現

AIを「2050東京戦略」で目指す都市の実現を加速させ、
都政の構造改革の強力な推進力となる中核技術の一つとして位置付け

AIを都政のあらゆる側面で徹底的に利活用し、「都民サービスの質向上」「業務の生産性向上」
を図り、都民・事業者の手取り時間を増やすなど都民のQOL向上を実現

東京都AI戦略の位置づけ

「東京都AI戦略」は、AIを東京都が目指す2050年の未来像を示した「2050東京戦略」の実現を加速させるための強力な「手段（技術・ツール）」として明確に位置づけた上で、東京都がAIと向き合う際の基本的な考え方や取組の方向性を示す「全庁的な方針」として整理したものです。

「2050東京戦略」で目指す東京の姿

すべての「人」が輝き、一人ひとりが幸せを実感できる「成長」と「成熟」が両立した「世界で一番の都市・東京」

都民がQOL向上を実感できる社会

世界を牽引し持続的に成長する都市

視点1：都政におけるAI利活用

- AI利活用の考え方に基づき、都民サービスから内部業務まで、AIを都政のあらゆる側面で徹底的に利活用

視点2：多様な主体とのAI利活用促進

- 産業の成長とイノベーションを牽引する取組を展開
- 社会全体におけるAIの利活用促進と人材育成を推進

東京都AI戦略

1. AIへの向き合い方

AI利活用がもたらす暮らしの变革

生成AIを含めたAIを利活用していくことで、都民サービスの質向上が図られ、都民の暮らしやライフステージにおける様々な場面でQOL（クオリティ・オブ・ライフ）が向上し、都民の「手取り時間」の増加も見込まれます。

【イメージ】

妊娠・出産・子育て

- 妊娠が判明した時点で、**個人の状況に応じた利用可能な支援制度をAIが自動的に案内**
- AIエージェントが**予防接種、健診、育児アドバイス、地域イベント情報**などを子供の成長段階に応じて通知
- AIを活用した**保育施設の検索・空き状況のリアルタイムな情報提供、保育施設等への入所申請手続きのサポート**

学び

- 予め用意された答えがない問いに対する**探究学習を充実**
- 生徒のテスト結果等から、**得意な部分や理解の進まない部分を検知し、個別サポート**
- 進学等の**面接や小論文作成をサポート**

働き方

- 起業や複業を志す方に対し、**ビジネスアイデアの構成支援や補助金適用診断等を実施**
- 子育てなど様々な事情を抱える方も含め、**就労希望者の状況に応じて最適な働き方をAIが提案**

見守り・介護

- 日常会話等から、**認知症等の兆候をAIが検知し、早期受診につなげる**
- 介護に関する**複雑な情報を、分かりやすく整理・生成し、個人に適したサービス内容をアドバイス**

暮らし

- 個人の状況に応じて**AIが様々な行政情報を自動で提供。複雑な各種申請書類の作成等をAIがサポート**
- 過去データや個人の状況に基づいた、より詳細で具体的な健康相談アドバイスを提案
- これまで運転手が行っていた自動車運転の必要な認知、判断、操作を、自動運転システムが代替

1. AIへの向き合い方

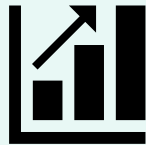
AI利活用がもたらす行政の变革

AIの卓越した処理能力を生かし、定型的な業務から意思決定のサポートまで幅広く利活用することを通じて、職員及び組織の業務生産性が大幅に向上する可能性があります。

【イメージ】

企画立案

- ・ AIが膨大なデータを瞬時に収集・分析・要約
- ・ 過去の事例や社会情勢を基にAIが複数のシナリオを提示し、より広い視点と発想で企画立案が可能

定型事務

- ・ 生成AIによって条例案や報告書、通知文等様々なたたき台を自動生成し業務をサポート
- ・ AIが会議資料の下書きや議事録を作成し、会議運営を大幅に効率化

窓口・広報

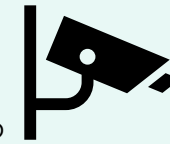
- ・ 申請書類の一次審査や住民からの手続等に関する問合せにAIが24時間体制で対応
- ・ AIが世間の話題や都民の声を分析し、最適化された広報戦略を支援

測量・設計

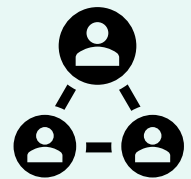
- ・ ドローンで撮影した画像をAIが解析し、前回撮影からの地形や構造物の変化等を検出
- ・ 過去の設計書や図面を基にAIが設計書をチェックし誤りを防止

現場管理

- ・ AI搭載の作業ロボットを導入し人手不足を解消するとともに安全管理を高度化
- ・ 施設管理においてAIによる遠隔監視を行い異常検知や緊急対応を迅速化

マネジメント

- ・ AIがKPIの達成状況や進捗の可視化を行い、リスクを早期発見
- ・ 感覚等に頼らない、客観的なデータに基づく分析結果から意思決定を支援



1. AIへの向き合い方

2. 都政におけるAI利活用

3. 多様な主体とのAI利活用促進

4. 東京都の推進体制と主な取組

2. 都政におけるAI利活用

AI利活用に当たっての基本方針

東京都では以下の考え方に基づき、AIを都政のあらゆる側面で徹底的に利活用し、「都民サービスの質向上」と「業務の生産性向上」を図っていきます。

■ 都民の利便性向上・QOL向上の徹底

AIの利活用は、常に都民の利便性向上、QOL向上に貢献することを第一義とすること

■ 政策実現の手段としてのAI利活用

AI導入自体を目的化せず、あくまで「2050東京戦略」で掲げる各政策分野の課題解決や目標達成のための有効な「手段」として活用すること

■ 人間中心のAI利活用

AIは人間の能力を補完・拡張するものであり、最終的な判断や責任は人間が担うことを原則とすること

■ リスクへの適切な対応

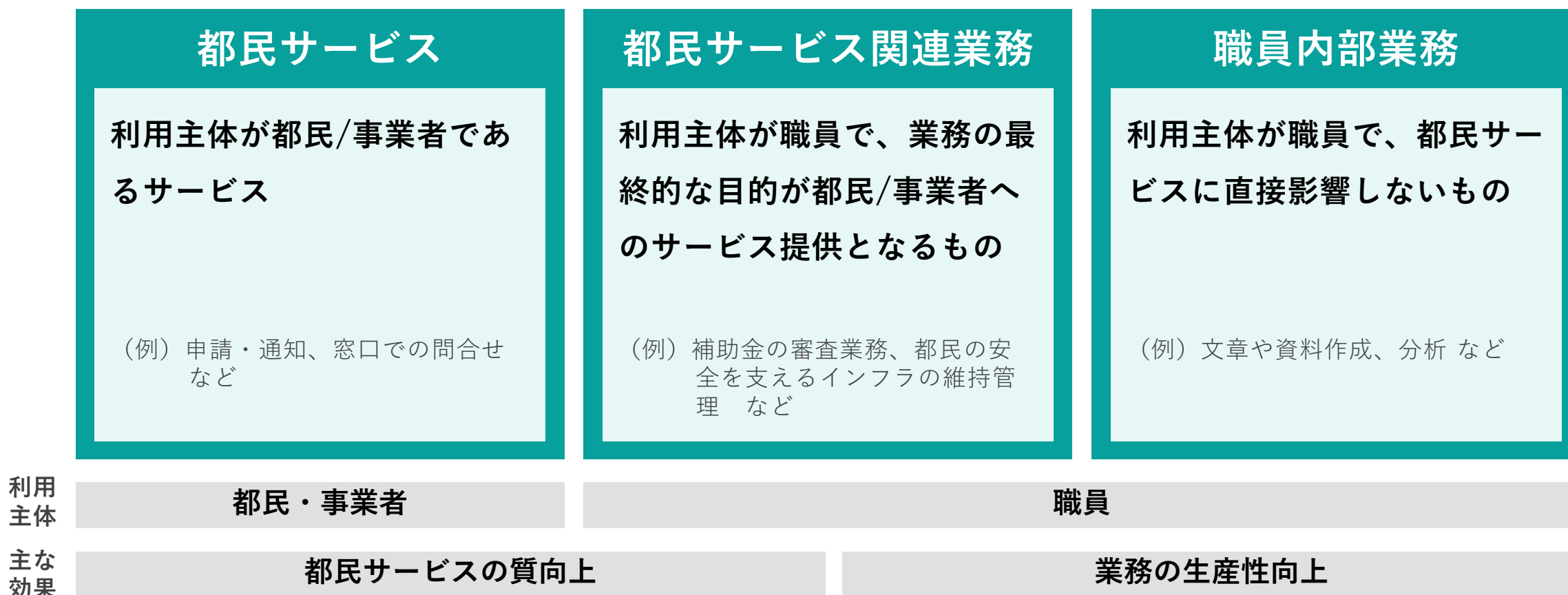
AI利活用のリスクを理解し、倫理性などにも配慮しながら、都民が信頼できるAI利活用を図ること

■ オープンイノベーションの推進

大学・研究機関や国内外の民間事業者等が持つ先進的なAI技術や知見を取り入れ、連携・協働を推進すること

AI利活用を図っていくべき業務領域

都庁の各部門がAIを積極的かつ効果的に導入・利活用できるよう、業務領域を「都民サービス」「都民サービス関連業務」「職員内部業務」の3つにカテゴライズして整理します。



2. 都政におけるAI利活用

各業務領域におけるAI利活用の分類

AIの利活用に当たっては、「音声認識」「文字認識」「画像・動画認識」「数値予測」「マッチング」「最適解表示」などAIが有する様々な機能を、実際の事業や業務に当てはめていくことが必要です。

本戦略では、各々の業務領域においてこういった利活用が想定できるかを分かりやすく整理するため、カテゴライズした「都民サービス」「都民サービス関連業務」「職員内部業務」ごとに、AIの技術的な機能を踏まえた分類を設定します。

都民サービス

業務領域「都民サービス」におけるAI利活用に当たっての分類を以下のとおり整理

分類	名称	説明
1	情報提供・検索	テキストや音声の意味を認識し、適切な情報を検索・提示 例：FAQ等の定型的な情報提供、制度・イベント案内等定型的な情報提供
2	行動支援	利用者の状況を理解し、定められたルールや手順に基づき、次の行動を具体的に支援・誘導 例：個別状況に応じた定型的な手続きの案内、定型的な申請書類等の入力支援
3	パーソナライズド支援	個人の状況やニーズに合わせ、関連性の高い最適化された情報を推薦し次のアクションを支援
4	予測・最適化	大規模データからニーズや未来を予測し、リスク・機会への備えをサポート
5	自律的判断・実行	人間の手を介さず、予測・最適化に基づき自ら判断・実行

各業務領域におけるAI利活用の分類

都民サービス関連業務

業務領域「都民サービス関連業務」におけるAI利活用に当たっての分類を以下のとおり整理

分類	名称	説明
1	定型業務補助	画像や文書から文字等を認識し、定型的なインプット作業を自動化 例：データ化等の定型的な業務補助、反復的な作業の自動化
2	データ分析	データを分析・可視化し、業務上の示唆を与え、プロセスの効率化を支援 例：施設利用状況やSNS等のデータや情報に基づいた状況把握・分析
3	判断支援	膨大な過去事例や現在の複雑な状況进行分析し、業務プロセス上必要な判断を支援 例：申請書類などを複雑な条件に基づく審査・チェック等の一次判定
4	業務の予測・最適化	様々な過去・現在のデータに基づき未来の状態を予測し、最適化された案を提案 例：施設の劣化状態やメンテナンス時期の予測・提案
5	自律的な業務遂行	人間の手を介さず自動的に業務を最終判定・実行

各業務領域におけるAI活用の分類

職員内部業務

業務領域「職員内部業務」におけるAI活用に当たっての分類を以下のとおり整理

分類	名称	説明
1	情報検索・定型業務支援	膨大な文書やデータを横断的に認識し、必要な知識の検索や定型作業を支援 例：書類や議事録のデータ化等業務補助、規程等の自然言語等による検索・要約
2	文書作成支援	定型文書における下書き作成、文書の校正、翻訳等の支援
3	専門知識助言・企画提案支援	業務ノウハウや組織内データを分析し、高度な知識・事例を踏まえた助言や企画提案を支援
4	予測・高度な判断支援	未来の社会変化や事業への影響を予測し、施策等の導入判断を支援
5	自律的判断・実行	業務プロセス自体の自律的な運用・改善を人間の手を介さず実行

AI利活用に当たって留意すべき事項

AIを利活用する際には、業務の性質に応じて以下の事項に留意していく必要があります。

行政においては、特に、都民・事業者の方々から信頼と共感を得るという観点が重要であり、利活用に当たっては、「透明性」と「公平性」を常に留意しながら進めていくことが求められます。

留意事項	説明
透明性	AIがどのように機能し、なぜ特定の決定や予測に至ったのか理解可能な状態にしておくこと。また、その情報を可能な範囲で公開する等、留意事項への対応が都民へ説明されていること
公平性	AIモデルに含まれるバイアス（偏見）によって、特定の個人や集団が不当な差別を受けたり、不利益を被らないようにすること
安全性	AIの誤作動や意図しない動作により、人間の生命・身体・財産・精神・環境への危害を加えないようにすること
プライバシー	AIを使用することによる個人情報の不適切な収集、利用、管理、漏洩、またはプライバシーの侵害が起きないようにすること
セキュリティ	サイバー攻撃等に備えるとともに、不正操作によってAIの動作に意図せぬ変更や停止が生じないようにすること
アカウンタビリティ	AIが予期せぬ結果や不利益が生じる結果を引き起こした場合に備え、誰が、どのように責任を負うのか明確にしておくこと。また、AIの動作や判断が適切であったかを後から検証できるようにしておくこと

※業務の性質により留意すべき内容が異なるため、実際の利活用に当たっては業務の性質に応じて留意すべき事項を個別に判断

基本方針を踏まえたAI利活用の推進

「都民サービス」「都民サービス関連業務」「職員内部業務」の業務領域と、AIの技術的な機能を踏まえた分類、利活用に当たって留意すべき事項の3点を踏まえ、都政におけるAI利活用推進に当たっての考え方をまとめました。

比較的风险が低い領域では積極的にAIを利活用するとともに、リスクがある領域では十分に配慮を行った上で積極的にAIの利活用を図っていきます。

青

比較的风险が低く積極的に利活用

黄

リスクに十分配慮した上で積極的に利活用

赤

今後の技術動向や法制度の整備状況等を注視

基本方針を踏まえたAI利活用の推進

都民サービス

業務領域「都民サービス」におけるAI利活用に当たっての考え方を以下のとおり整理

分類	考え方	留意すべき主な事項	利活用イメージ
1 情報提供・検索	青	公平性	 シナリオ型AIチャットボットによる情報提供
2 行動支援		公平性 アカウンタビリティ 透明性	 申請書の入力項目や内容を、AIにより案内
3 パーソナライズド支援	黄	公平性 アカウンタビリティ 透明性 安全性	 生成AIにより、一人ひとりに合わせた最適な行政サービス等の提案
4 予測・最適化		公平性 アカウンタビリティ 透明性 プライバシー 安全性	 各ライフステージで起こりうるリスクをAIで予測し、個人の状況に応じた備えをサポート
5 自律的判断・実行	赤	—	—

※業務の性質により留意すべき内容が異なるため、実際の利活用に当たっては業務の性質に応じて留意すべき事項を個別に判断

基本方針を踏まえたAI利活用の推進

都民サービス関連業務

業務領域「都民サービス関連業務」におけるAI利活用に当たっての考え方を以下のとおり整理

分類	考え方	留意すべき主な事項			利活用イメージ
1 定型業務補助	青	公平性	透明性		 手書きで提出された申請書をAI-OCRによりデータ化
2 データ分析		公平性 アカウントビリティ	透明性		 AIによるSNS分析ツールで行政サービスに対する都民の意見を分析
3 判断支援		公平性 アカウントビリティ	透明性 プライバシー		 生成AIによる申請書の一次判断支援
4 業務の予測・最適化	黄	公平性 アカウントビリティ	透明性 プライバシー	安全性	 施設の画像データをAIの画像認識により分析し、劣化等を予測・検出
5 自律的な業務遂行	赤	—			—

※業務の性質により留意すべき内容が異なるため、実際の利活用に当たっては業務の性質に応じて留意すべき事項を個別に判断

基本方針を踏まえたAI利活用の推進

職員内部業務

業務領域「職員内部業務」におけるAI利活用に当たっての考え方を以下のとおり整理

分類	考え方	留意すべき主な事項		利活用イメージ
1 情報検索・定型業務補助	青	公平性		 大量にある規程類を、生成AIにより検索・要約
2 文書作成支援		公平性		 内部文書の下書き作成や校正を生成AIで実施
3 専門知識・企画提案支援		公平性	透明性	 内部業務データを活用し、専門的な業務ノウハウを生成AIで継承
4 予測・高度な判断支援	黄	公平性 アカウンタビリティ	透明性	 AIの数値予測による計画立案を支援
5 自律的判断・実行	赤	—		—

※業務の性質により留意すべき内容が異なるため、実際の利活用に当たっては業務の性質に応じて留意すべき事項を個別に判断

1. AIへの向き合い方

2. 都政におけるAI利活用

3. 多様な主体とのAI利活用促進

4. 東京都の推進体制と主な取組

国際競争力の向上及びAIフレンドリーな社会の醸成

持続的に成長を続ける都市・東京の実現に向けて、民間・大学・研究機関・行政が連携を図りながら、産業競争力の強化やAIネイティブな人材輩出など、「2050東京戦略」で掲げる取組を推進します。

産業の成長とイノベーションを牽引する取組の展開

東京、ひいては日本のAI開発力を底上げし、国際的な競争力を高めるため、民間企業や大学、研究機関等との連携を強化し、イノベーションが生まれ続けるエコシステムの変革に向けた取組を展開

- 民間におけるAI利活用の促進
- 産官学連携の推進

社会全体におけるAIの活用促進と人材育成の推進

AI技術の恩恵を全ての都民が享受できるよう、社会全体のAIリテラシーを向上させるとともに、教育現場での活用から専門人材の育成まで、多層的な人材育成を推進

- 多様なAI人材の確保・育成
- 都民のAIリテラシー向上

3.多様な主体とのAI利活用促進

産業の成長とイノベーションを牽引する取組の展開

世界のイノベーション競争に伍していけるよう、民間企業や大学、研究機関等と協働しながら、東京、ひいては日本のAI開発力・競争力を底上げするとともに、イノベーションが生まれ続けるAIネイティブなエコシステムへの変革を目指します。

民間におけるAI利活用の促進

中小企業の生産性向上

- ・ 都内産業の競争力強化に向け、AI等の技術活用を促進するなど中小企業のDX推進を支援 など

スタートアップとの協働

- ・ 「SusHi Tech Tokyo」を核に、国内外のスタートアップ、研究機関等が集うハブとしての機能強化
- ・ TiBをプラットフォームとした世界のエコシステムとの協働の取組推進
- ・ ピッチイベント開催などを通じた東京都のフィールドでの実証の場提供など社会実装の機会を創出 など

データ利活用環境の整備

- ・ 民間事業者が行政データを活用し、AIを用いた新たなサービスを創出しやすくなるよう、データの整備・提供を推進
- ・ AIの利活用推進にとって不可欠な基盤となるデータセンターについて、環境負荷等の観点も含めたバランスの取れた取組の検討 など

産業の成長とイノベーションを牽引する取組の展開

産官学連携の推進

大学・研究機関・民間事業者との連携

- ・ 都が大学、研究機関等と連携し、都市課題の解決に向けた共同研究開発を推進
- ・ 世界をリードする民間事業者等との協働による先進技術等を活用したイノベーションの創出 など

AI開発・活用のアイデア創出

- ・ ハッカソンの開催等を通じ、社会課題解決につながる新たなアイデアやプロトタイプの創出を促進 など

東京の魅力発信

- ・ 多様な主体とも連携し、海外のAI人材や企業にとって「面白いことができる場所」として、東京の魅力を戦略的に発信 など

3.多様な主体とのAI利活用促進

社会全体におけるAIの活用促進と人材育成の推進

AIの進化がもたらす恩恵を全ての都民が享受できるよう社会全体でAIリテラシーの向上を図るとともに、AIを活用した新たな価値の創造やAIの利活用の推進ができる人材など多様な層のAI人材の確保・育成に向けた取組を推進します。

多様なAI人材の確保・育成

高度専門人材の育成

- ・ 大学や高等専門学校による先進的な教育カリキュラムを通じた次代を担うAI人材の育成・輩出 など

社会人の学習機会の提供

- ・ AI関連スキルを習得できる教育プログラムの提供等による再就職やキャリアアップの支援 など

行政職員等の人材育成

- ・ 都ICT職を対象としたAI関連の育成プログラムや、区市町村職員も含めた研修プログラムの提供、生成AI活用ワークショップ開催等を通じたサービスの質向上につながるAI活用事例の創出 など

社会全体におけるAIの活用促進と人材育成の推進

都民のAIリテラシー向上

体験等を通じた理解促進

- AIの利便性とリスクの両面を理解できる情報発信など都民のAIリテラシー向上策の展開
- 高齢者等を対象にしたAI利活用法等を学べる学習機会の提供 など

教育現場におけるAI活用推進

- 全都立学校で生成AIを日常的に活用できる環境を整備するなどによる、生徒等の思考力向上や情報モラル、AIリテラシーの習得 など

1. AIへの向き合い方

2. 都政におけるAI利活用

3. 多様な主体とのAI利活用促進

4. 東京都の推進体制と主な取組

都政におけるAI利活用推進に向けた体制と主な取組

これまで戦略で示した2つの視点を踏まえ、東京の持続的成長や都民サービスの質向上を加速させるため、都政におけるAI利活用の推進体制を構築するとともに、3つの柱に沿って様々な取組を展開します。

推進体制

政策、財務、技術の3部門が連携を図りながら、都政におけるAI利活用をマネジメント

マネジメント部門

政策部門

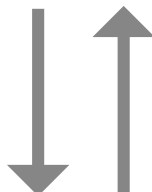
財務部門

技術部門
(デジタルサービス局)



各局等

各局等AI利活用推進責任者



各部署

3つの柱

各局等のAI徹底利活用を後押しする全体統括、各局サポート、国等との連携

全体統括

統一的な方針に基づく取組を進めるため、都の全てのAI関連事業の把握や、利活用ガイドライン等の策定を推進

各局サポート

各局等のAI利活用促進につなげるため、リテラシー向上研修や相談窓口、共通ツール・生成AIプラットフォームを提供

国・区市町村 民間等との連携

国の方針や施策との整合を図るとともに、区市町村とも密に連携するなどし都の先進的取組を展開

《推進体制》マネジメント部門と各局等の連携

都庁全体を統括するとともに、各局等のAI利活用を後押しするため、政策、財務、技術の3部門が、各局等のAI利活用推進責任者や各部署と共に、AI利活用促進のマネジメント体制を構築します。各局等はマネジメント部門と連携の上、各事業において積極的にAI利活用や民間等のAI利活用の促進等の取組を展開します。

マネジメント部門

政策部門

- ・政策実現の視点でAI利活用をチェック・サポート
- ・各政策分野での取組の進捗管理

財務部門

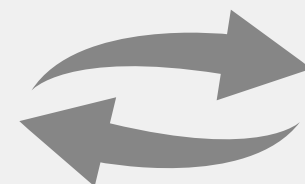
- ・予算面での統制・チェック
- ・事業評価による取組促進

技術部門

(デジタルサービス局)

- ・AI利活用にかかるガイドライン整備
- ・共通ツール・プラットフォームの提供
- ・職員リテラシー向上、技術面のサポート等

後押し



相談・各種報告

各局等

各局等AI利活用推進責任者

- ・CIO補佐官制度を活用し、AI事業や経費等を取りまとめ
- ・政策課題を踏まえ、各部署のAI事業の企画立案を支援

各部署

各部署

- ・各事業でAI利活用を徹底（企画立案含む）
- ・職員内部業務で共通ツール等を積極活用
- ・透明性や公平性等に留意し、必要な対応

《3つの柱》全体統括

マネジメント部門が全体統括機能を担い、東京都AI戦略等で示すAI利活用の基本方針・ルールに基づいた、各局等における事業実施や職員内部業務での全庁統一的なAI利活用を進めます。

具体的な取組

AI案件の把握

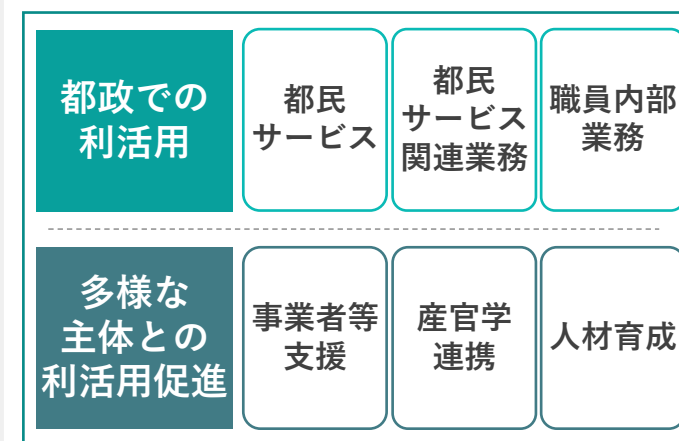
- 各局等が実施する全AI関連施策※をマネジメント部門が把握
- 政策部門が2050東京戦略に基づく施策の進捗管理、財務部門が予算面での統制や事業評価も活用した取組促進、技術部門が必要な技術支援等を行う

※都政でのAI利活用及び多様な主体とのAI利活用促進の事業・経費等

利活用ガイドライン

- 東京都AI戦略にて基本方針等を示すとともに、各局等の課題解決のため、効果的な利活用事例や留意事項への対応等をまとめたガイドラインを策定
- 技術進展や国の動向等を踏まえ、随時更新

AI関連施策の把握と利活用促進



全施策を6つの分類で把握
共通事例の知見を横展開する
などAIの効果的利活用を促進

《3つの柱》各局等サポート

各局等でのAI利活用促進のため、職員のリテラシー向上や留意すべき事項への対応、困りごとへの相談窓口等サポート体制を充実させます。

また、各局等での独自調達などの負担を軽減し、業務の効率化や利活用促進につなげる共通ツールや生成AIプラットフォーム等の共通基盤を整備します。

具体的な取組

研修

- ・ AI利活用の目的や効果、具体的な留意点などを内容とする職員向けAIリテラシー向上研修を実施

相談窓口

- ・ AI利活用等に関する各局等向けの庁内相談窓口を設置
- ・ 他自治体や民間AI関連サービスの先進事例、AI技術動向、国の規制・方針等を調査・把握した上で助言

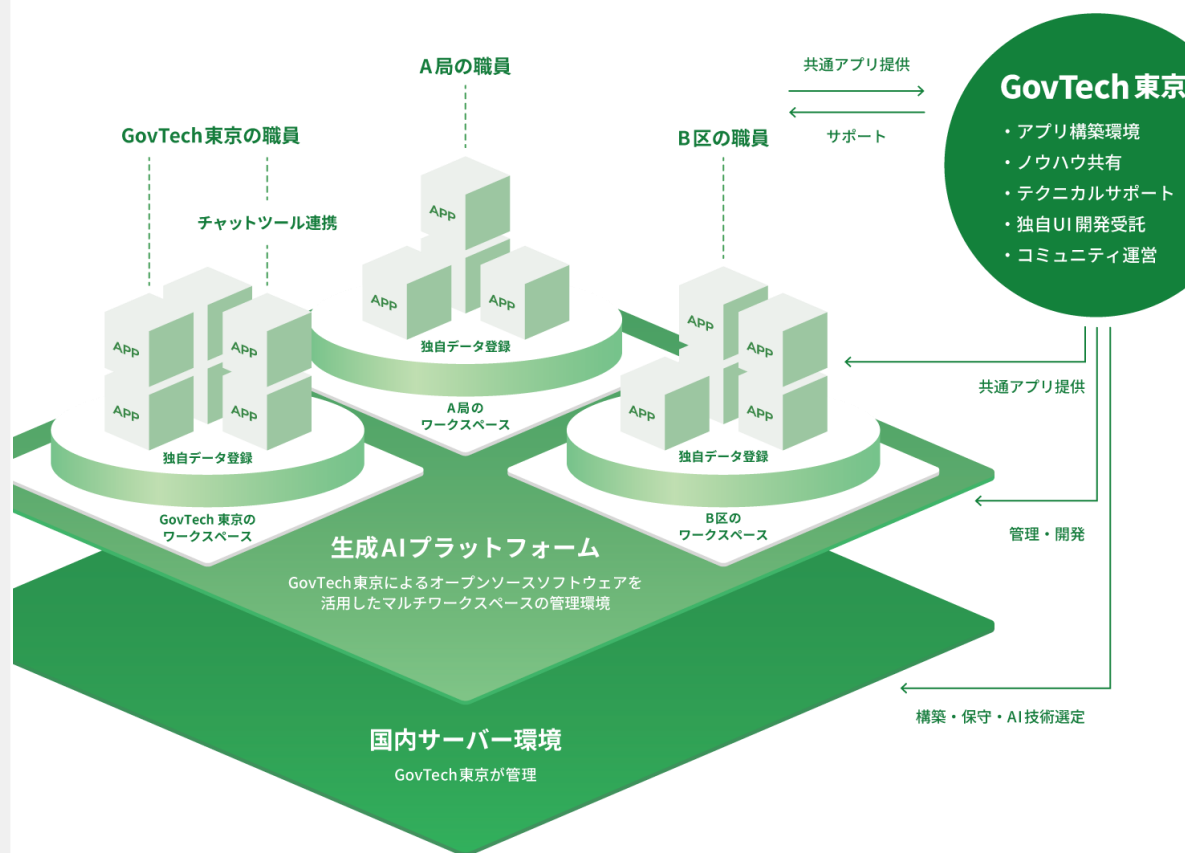
共通ツール等の提供

- ・ AIによる議事録作成支援、文章生成など全庁業務での利活用が見込まれる共通ツールや、AI機能搭載のアプリケーションの作成を容易にする生成AIプラットフォームを各局等へ提供

生成AIプラットフォーム等の共通ツールの活用

業務の生産性向上に当たり、セキュアな環境で安心・安全に生成AIを利用可能な環境を整備し、全庁的な共通基盤・ツールとして提供し、効率的かつ効果的にAI利活用を推進していきます。

生成AIプラットフォーム



- GovTech東京と構築を進めている生成AIを利活用できる共通基盤（プラットフォーム）
- セキュアな環境にテキストベースで業務データを登録し、そのデータと生成AIを組み合わせることで業務に活用することで生産性向上の実現を目指す
- 大規模言語モデル（LLM）も用途に合わせ選択可能

< 具体的な活用例 >

業務マニュアルや規程類等のデータを基に、専門的な業務ノウハウを生成AIが回答

《3つの柱》国・区市町村、民間等との連携

国や区市町村、企業、研究機関等と幅広く連携・協力していくことで、東京全体でのAI利活用を促進し、新たなサービス開発などを生み出し、将来的には日本全体の課題解決にもつなげていきます。

具体的な取組

国

- ・ 国と連携したAIの利活用環境の整備やサービス開発に向けた実証・検証等
- ・ 現場の実情や社会経済状況の変化等に対応し適時適切に必要な提案要求実施

区市町村

- ・ AI導入のノウハウやナレッジ等の紹介、先進的な事例などの横展開等
- ・ 生成AIプラットフォームの共同利用や、GovTech東京と連携した技術支援

企業・
研究機関等

- ・ ハッカソンなどによる官民協働での社会課題解決に向けた取組促進
- ・ 有識者との意見交換などによる最新情報の把握、政策への提言

国・区市町村・民間等との連携



おわりに

AIは、私たちの社会や生活に大きな変革をもたらす可能性を秘めた技術です。

東京都は、このAIという技術（テクノロジー）を「2050東京戦略」が描く未来の東京を実現するための強力なツールとして積極的に利活用し、都民一人ひとりが豊かさを実感できる都市・東京を目指していきます。

変化の速いAI技術の動向や社会情勢の変化を踏まえ、本戦略を継続的に見直し、都民の皆様の理解と共感を得ながら、その時々に適したAI利活用を推進していきます。

行政におけるAIの利活用を通じた行政サービスの質の向上や業務の生産性向上は、全国の自治体にとって共通した課題であり、東京都の取組を共有することを通じて、日本全体の課題解決に貢献していきます。

東京都AI戦略

初版 2025年 7月 25日

編集・発行

東京都デジタルサービス局デジタル戦略部デジタル戦略課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号

ホームページ <https://www.digitalservice.metro.tokyo.lg.jp/>